

## 学会記事

??

## 第 26 回通常総会報告

NewsLetter のコーナーに、研究集会・チュートリアル等の開催通知、教員募集等の掲載を希望される方は、下記宛に電子メールで原稿(テキスト形式)をお送り下さい。紙面の都合で取捨選択したり、一部割愛したりすることがありますのでご了承下さい。原稿締切は 2, 5, 8, 11 月の末日、掲載は 5, 8, 11, 2 月号です。

E-mail: jssst\_newsletter@jssst.or.jp (NewsLetter 担当)

## 学 会 記 事

## 第 26 回通常総会報告

第 26 回通常総会は、2009 年 6 月 11 日(木) 午後 6 時～8 時、東京大学山上会館 001 会議室において開催された。出席者は、344 名(うち委任状は 316 名、定足数は 163 名)。湯浅太一理事長を議長に、第 1 号議案、第 2 号議案を審議し、決算が適正であるとの菅原俊治、杉村領一 2008 年度監事の報告を受けて、満場一致でこれらを承認した。続いて第 3 号議案、第 4 号議案について審議し、これらも満場一致で承認した。引き続き、2009 年度役員紹介の後、基礎研究賞(第 1 回)、論文賞(第 13 回)、解説論文賞(第 2 回)および高橋奨励賞(第 25 回)受賞者の表彰に移り、総会に出席の各氏に賞状と副賞が手渡された。最後に、2008 年度で退任した理事に理事長から礼状が手渡された。総会終了後、簡単な懇親会をもった。

承認された議案を以下に示す。

## 【第 1 号議案】2008 年度事業報告

## 1. 会員

2009 年 3 月 31 日現在の会員状況は次の通りである。

正会員	978 名(うち海外在住 2 名)	団体会員	7 団体
学生会員	176 名	賛助会員	10 社(16 口)
準会員	39 名		

2008 度末に会員名簿の整理を行った。連絡がつかない会員、会費を長期にわたって滞納する会員が多数おり、学会運営に支障をきたしたからである。連絡がつかない会員のうち、理事が連絡先を見つけることができた分については、学会から連絡した。会費滞納会員のうち 2 年以上の滞納者に関しては、督促状を送付するとともに、このまま滞納を続けた場合には定款にのっとり名簿から削除する旨を通告した。その結果、2008 度末に約 400 名の除名を行うことになった。

## 2. 会議の開催

### 2.1 総会（第 25 回）

日 時： 2008 年 5 月 29 日（木）18:00～20:00

場 所： 東京大学山上会館

出席者： 326 名（うち委任状 305 名，定足数 210 名）

議 案： (1) 2007 年度事業報告 (2) 2007 年度決算報告  
(3) 2008 年度事業計画 (4) 2008 年度予算  
(5) 定款の修正 (6) 基礎研究賞の創設

湯淺太一理事長を議長に，第 1 号議案及び第 2 号議案を審議し，決算が適正であるとの菅原俊治，杉村領一 監事の報告を受けて，満場一致でこれらを承認した．続いて第 3～6 号議案について審議し，これらも満場一致で承認した．引き続き，2008 年度役員紹介の後，論文賞（第 12 回）および高橋奨励賞（第 24 回）受賞者の表彰に移り，総会に出席の各氏に賞状と副賞が手渡された．最後に，2007 年度で退任した理事に理事長から礼状が手渡された．総会終了後，簡単な懇親会をもった．

### 2.2 理事会

第 231 回（2008-04-24）から第 237 回（2009-03-26）まで 7 回開催した．2008 年度の理事及び監事は次の通りである．

理事長 湯淺 太一

理 事	大沢 英一	大和田勇人	加藤 和彦	亀山 幸義
	河内谷清久仁	佐藤 周行	高橋 和子	寺岡 文男
	橋田 浩一	平田 圭二	松本 健一	村田 真
	吉田 健一			

監 事 菅原 俊治 杉村 領一

### 2.3 評議員会

第 23 回（2008-09-11）評議員会を筑波大学東京キャンパスにて開催し，学会運営について討議した．2008 年度の評議員は次の通りである．

阿草 清滋	雨宮 真人	井田 哲雄	伊藤 貴康	稲垣 康善
井上 克郎	牛島 和夫	江口 和俊	大野 豊	大野 義夫
大堀 淳	大蒔 和仁	落水浩一郎	笥 捷彦	片山 卓也
坂井 公	佐々 政孝	佐藤 雅彦	柴山 悦哉	武市 正人
田中 英彦	田中 穂積	田中 譲	玉井 哲雄	近山 隆
土居 範久	東倉 洋一	都倉 信樹	所 真理雄	中島 震
中島 秀之	中田 育男	西田 豊明	疋田 輝雄	深沢 良彰

二木 厚吉    二村 良彦    古川 康一    溝口 文雄    宮本 衛市  
村岡 洋一    森下 真一    山本 喜一    米崎 直樹    米澤 明憲

### 3. 事業

#### 3.1 機関誌編集

第 285 回 (2008-04-18) から第 295 回 (2009-03-13) まで、11 回の編集委員会を開催し、機関誌「コンピュータソフトウェア」第 25 巻 2~4 号および第 26 巻 1 号を発行した。これらは全て、サイバー増大号であり、冊子体とサイバーページ (電子出版) から構成した。また、「論理および推論技術の展開」(第 25 巻 3 号)、「エージェント」(第 25 巻 4 号)、「インタラクティブシステムとソフトウェア」(第 26 巻 1 号) の 3 回の特集を組んだ。第 25 巻までの各号は 1 月号、4 月号、7 月号、10 月号と称していたが、発行日が各月の 25 日頃であることから、第 26 巻から、2 月号、5 月号、8 月号、11 月号と称することに変更した。発行月は従来通り 1 月、4 月、7 月、10 月である。

ソフトウェア論文については、第 2 弾のソフトウェア論文特集 (2009 年 11 月号掲載予定) を募集し、10 編が投稿された。また、ソフトウェア論文賞を新たに制定し、特に優れたソフトウェア論文を表彰することになった。査読基準については、担当編集委員 7 名が中心となり、具体的な投稿の査読をもとにして、より良い採否基準の合意形成を目指した。今後も同様の方針で査読や編集作業を行う。

2005 年度から開始した読者モニタ制度をアナウンスし、応募者の中から選定された 9 名のモニタから機関誌および各記事に関するさまざまなフィードバックを得た。この他、編集関係の情報を学会員にわかりやすく提示するため、学会ウェブページにおける編集関係のページを改訂した。

第 13 回論文賞として、以下の 2 編を選定した。

- ・風間 一洋, 佐藤 進也, 斉藤 和巳, 山田 武士: 「人間関係の重なりを持つコミュニティ構造の抽出」, Vol. 24, No. 1 (2007), pp. 81-90. (「ネットワークが創発する知能」特集)
- ・大堀 淳, 纒坂 智: 「表示的意味論に基づくパターンマッチングコンパイル方式の構築と実装」, Vol. 24, No. 2 (2007), pp. 113-132.

また、第 2 回解説論文賞として、以下の 2 編を選定した。

- ・増原 英彦: 「アスペクト指向プログラミング」, Vol. 23, No. 2 (2006), pp. 4-28. (「新しいソフトウェアの実現」特集)
- ・五十嵐 健夫: 「スケッチインタフェースの研究動向」, Vol. 23, No. 4 (2006), pp. 3-13. (「インタラクティブソフトウェア」特集)

2008 年度の編集委員会の構成は次の通りである。

編集委員長	本位田真一				
副編集委員長	権藤 克彦				
編集顧問	竹内 郁雄				
編集担当理事	大和田勇人	亀山 幸義			
編集委員	青木 利晃	明石 修	伊知地 宏	岩崎 英哉	
	上田 和紀	小川 瑞史	亀山 幸義	河野 健二	
	栗原 聡	沢田 篤史	滝本 宗宏	楯岡 孝道	
	塚田 恭章	豊田 正史	中島 震	西崎 真也	
	番原 睦則	胡 振江	細部 博史	増原 英彦	
	松原 繁夫	丸山 勝久	山本 章博	結縁 祥治	
	吉岡 信和				

### 3.2 企画委員会

第1回(2008-05-21)から第6回(2009-03-25)までの企画委員会を開催し、各種の企画にあたった。2008年度の企画委員は次の通りである。

企画委員長	寺岡 文男				
企画担当理事	寺岡 文男	橋田 浩一			
企画委員	明石 修	網代 育大	栗原 聡	来間 啓伸	
	光来 健一	砂原 秀樹	遠山 緑生	廣津登志夫	
	細部 博史	前田 俊行	松本 健一	丸山 一貴	
	南出 靖彦	吉岡 信和	吉川 隆英		
関西支部					
委員長	松本 健一				
委員	井垣 宏	内田 眞司	大平 雅雄		
	柿元 健	玉田 春昭			

### 3.3 大会

2008年9月10日(水)～12日(金)の3日間にわたり、筑波大学東京キャンパスにおいて第25回大会を開催した。参加者は178名(正会員95名、学生会員69名、一般非会員3名、学生非会員11名)であった。プログラムの構成は、招待講演1件(米澤明憲氏)、一般登壇発表79件、ポスター・デモ発表6件であった。

また、大会併設企画として「PPLサマースクール2008, 今日から使える! みんなの静的解析・バグ検出ツール」(プログラミング論研究会主催)、「ファイナンスにおける人工知能応用チュートリアル」(ネットワークが創発する知能研究会主催)の2件を開催した。

第 25 回大会の役員は次の通りである .

大会委員長	久野 靖			
運営委員長	吉田 健一			
プログラム委員長	西崎 真也			
プログラム委員	西崎 真也	南出 靖彦	大須賀昭彦	小野 康一
	高橋 孝一	増原 英彦	結縁 祥治	青戸 等人
	伊知地 宏	栗原 聡	小宮 常康	細部 博史
	五十嵐 淳	今泉 貴史	長谷川 立	青木 利晃

講演論文集は CD-ROM(ISSN 1348-0901) で刊行した .

なお、高橋奨励賞は次の 2 件に与えられた .

- ・ 森畑 明昌 : 「The Third Homomorphism Theorem on Trees: Downward & Upward Lead to Divide-and-Conquer」
- ・ 胡 振江 : 「Towards Compositional Approach to Model Transformation for Software Development」

### 3.4 講習会

下記のチュートリアルを開講した .

- (1) 「B メソッドを用いた形式仕様記述と検証」, 2008-09-04
- (2) 「ファイナンスにおける人工知能応用」(大会併設), 2008-09-09
- (3) 「インターネット管理運用の最前線 ~ 経路制御とセキュリティ ~」, 2008-11-11
- (4) 「Ruby on Rails チュートリアル ~ Ruby 1.9.1 から Rails まで ~」, 2009-02-10
- (5) 「ソーシャルネットワーク分析の基礎」, 2009-03-06

下記の大学基礎講座を開催した .

- (1) 「システム性能評価と待ち行列理論」, 2008-08-04 ~ 05
- (2) 「オペレーティングシステムの仮想化技術」, 2009-03-16 ~ 17

### 3.5 研究会

2008 年度は、次の 8 研究会が活動した . 各研究会の主な活動は下記の通りである .

- (1) 「ソフトウェアシステム」研究会 (主査: 廣津 登志夫)  
ミニワークショップ 1 回開催 (2009-03-18)
- (2) 「プログラミング論」研究会 (主査: 増原 英彦)  
国際シンポジウム 1 回開催 (2008-04-14 ~ 16)  
サマースクール (大会併設) 1 回開催 (2008-09-09)  
ワークショップ 1 回開催 (2009-03-09 ~ 11)

コンピュータソフトウェア：PPL2008 論文推薦

- (3) 「マルチエージェントと協調計算」研究会 (主査: 栗原 聡)  
チュートリアル 1 回開催 (大会併設) (2008-09-09)  
合同ワークショップ 1 回開催 (2008-10-29 ~ 31)  
情報処理学会インタラクシオン 2009 協賛
- (4) 「インタラクティブシステムとソフトウェア」研究会 (主査: 小池 英樹)  
ワークショップ 1 回開催 (2008-11-26 ~ 28)  
コンピュータソフトウェア特集号 (2010 年 2 月刊行予定)
- (5) 「ソフトウェア工学の基礎」研究会 (主査: 権藤 克彦)  
ワークショップ 1 回開催 (2008-11-13 ~ 15)
- (6) 「インターネットテクノロジー」研究会 (主査: 菅原 俊治)  
ワークショップ 1 回開催 (2008-06-26 ~ 27)  
コンファレンス 1 回開催 (2008-10-23 ~ 24)
- (7) 「ディペンダブルシステム」研究会 (主査: 木下 佳樹)  
ワークショップ 1 回開催 (2008-07-02 ~ 04)  
シンポジウム 1 回開催 (2008-11-17 ~ 19)
- (8) 「ネットワークが創発する知能」研究会 (主査: 中島 秀之)  
合同ワークショップ 1 回開催 (2008-08-29 ~ 31)  
合宿 1 回開催 (2008-11-16 ~ 18)

### 3.6 共催・協賛

会議等の共催・協賛・後援の承認件数は以下の通りであった。

共催：2 件      協賛：15 件      後援：2 件

### 3.7 広報関係

- (1) 財団法人京都高度技術研究所とホスティングサービス契約を継続し，WWW サーバおよびメールサーバを運用した。
- (2) 本学会の Web ページ (<http://www.jsst.or.jp/>) および会員メーリングリスト ([jsst\\_members@jsst.or.jp](mailto:jsst_members@jsst.or.jp)) を通じて，会員への情報提供を行った。

### 3.8 基礎研究賞

ソフトウェア科学分野の基礎研究において顕著な業績を挙げた研究者に対して，基礎研究賞を授与しその功績を称える制度を 2008 年度に設けた。初回にあたる 2008 年度は，以下の 2 名を選定した。

- ・ 二村 良彦 氏 (InfiniteBio, Inc.) 授賞業績：Futamura projections
- ・ 神谷 年洋 氏 (産業技術総合研究所) 授賞業績：コードクローン検出器 CCFinder

2008 年度の基礎研究賞選定委員会の構成は次の通りであった。

湯浅 太一（理事長）

本位田真一（編集委員長）

栗原 聡 権藤 克彦 菅原 俊治 廣津登志夫 増原 英彦

#### 4. 役員選挙

2008 年度末で任期満了となる役員分（理事 7 名，監事 1 名）に対する選挙は，2008 年 12 月 1 日に公示され，2009 年 1 月 22 日までに候補の推薦を受け付けた．その結果，理事候補として 7 名，監事候補として 1 名の推薦があった．推薦を受けた全員が役員候補者選考委員会にて候補者として選考され，2009 年 3 月 15 日までの期間の正会員による投票に付された．同時に役員選挙候補者選考委員の正会員による審査も行われた．正会員 1148 名中 296 票（約 26％）の投票があり，結果は次の通りであった．

理事選挙（有効投票 296）

大和田勇人（267） 河内谷清久仁（276） 紀 信邦（263）

佐藤 周行（275） 柴山 悦哉（288） 平田 圭二（266）

松本 健一（270）

監事選挙（有効投票 296）

杉村 領一（288）

役員候補者選考委員 不信任票（有効投票 296）

阿草 清滋（8） 大野 義夫（5） 箕 捷彦（6）

玉井 哲雄（3） 米崎 直樹（3）

この結果，理事候補，監事候補全員がそれぞれ理事，監事として選出され，2009 年 4 月 1 日から 2011 年 3 月 31 日までの役員を務めることになった．また，役員候補者選考委員全員が信任を受けた．なお，この選挙における選挙管理委員会の構成は次の通りであった．

選挙管理委員長 村田 真

選挙管理委員 大沢 英一 亀山 幸義 高橋 和子

橋田 浩一 湯浅 太一 吉田 健一

#### 【第 2 号議案】2008 年度決算報告

当期収入小計 25,167,322 円に対し，当期支出合計 24,150,543 円なので，単年度会計としては 1,011,769 円の黒字であった．各事業ごとに見ていくと，会員，機関誌関係の事業については若干の赤字を出しているが，大会事業，講習会事業については黒字になっている．特に，講習会事業についてはチュートリアルおよび大学基礎講座の実施回数を増やした結果，これらが盛況だったことからかなりの黒字収入となった．なお，

2007 年度に発生した 1,566,137 円の損金については、会員事務関連積立金を 150 万円取り崩しこれに充当することで相殺した。

入会金・会費収入に関して、2008 年度分だけの会費納付率は約 70%であったが、2007 年度以前の滞納分の支払いが 270 万円ほどあったので合計額はほぼ予算額に匹敵した。約 3 分の 1 の会費はクレジットカード払いであった（2007 年度分は 10%）。入会金・会費収入の予算額は 2007 年度末の会員数（約 1600 名）の実態を反映し納付率 95%を想定して策定したものであるが、その内、連絡不通会員、会費長期滞納会員が 400 名ほど含まれていたことを考慮すると、アクティブな会員の納付率は高かったのではないかと推測できる。2008 年度会費請求書を 2008 年 3 月に送付し、さらに 6 月、9 月、12 月に会費未納会員に督促状を送付した。督促状を送付した翌月には、送付数の 10%以上の納入の増加が認められた。

日本学会事務センターの破綻とそれに続く会員管理のトラブルで混乱していた財政状態の回復に努めてきたが、本年度会計をもってようやく正常化されたと言える。

収支計算書（2008 年 4 月 1 日から 2009 年 3 月 31 日まで）

・通常会計

(1) 収入の部			(2) 支出の部		
(単位：円)			(単位：円)		
勘定科目	予算額	決算額	勘定科目	予算額	決算額
入会金・会費収入	18,000,000	17,822,000	会員関係業務費	3,500,000	3,545,196
大会収入	1,060,000	1,138,000	研究活動費	200,000	100,000
機関誌収入	3,600,000	4,162,080	大会業務費	1,095,000	950,644
講習会収入	1,200,000	1,973,500	機関誌購入費	11,500,000	12,227,765
雑収入	100,000	71,742	機関誌業務費	350,000	335,293
当期収入小計	23,960,000	25,167,322	講習会業務費	700,000	1,043,441
			管理費	1,300,000	1,222,843
前期繰越金	-1,566,137	-1,566,137	事務所経費	1,500,000	1,386,961
会員事務関連	1,500,000	1,500,000	事務所整備費	50,000	0
積立金取り崩し			人件費	3,400,000	3,338,400
当期収入合計	23,893,863	25,101,185	予備費	298,863	0
			当期支出合計	23,893,863	24,150,543
2009 年度会費収入		964,000	2009 年度会費収入へ繰越		964,000
収入合計		26,065,185	支出合計		25,114,543
			当期収支差額		950,642



## ・特別会計

(1) 収入の部			(2) 支出の部		
勘定科目	予算額	決算額	勘定科目	予算額	決算額
前期繰越金 (基礎研究賞基金)	2,500,000	2,500,000			
利子	0	2,206			
当期収入合計	2,500,000	2,502,206	当期支出合計	0	0
			当期収支差額		2,502,206

## 貸借対照表 (2009 年 3 月 31 日)

(1) 資産の部			(2) 負債の部		
大科目	中科目	金額	大科目	中科目	金額
流動資産	現金預金	26,652,513	流動負債	未払い金	1,000,768
	差入引当金	307,440		前受け金	964,000
			流動負債合計		1,964,768
流動資産合計		26,959,953	負債合計		1,964,768
固定資産合計		102,243			
資産合計		27,062,196			
			(3) 正味財産の部		
			大科目	中科目	金額
			諸積立金	会員事務関連	1,700,000
				研究活動関連	4,944,580
				法人化準備	15,000,000
			特別会計	基礎研究賞基金	2,502,206
			剰余金	通常会計	950,642
			正味財産合計		25,097,428
			負債及び正味財産合計		27,062,196

## 繰越処理計算書 (2009 年 3 月 31 日)

		(単位：円)
(1) 当期収支差額		
当期収支差額計		950,642
(2) 資産特定額		0
(3) 次期繰越収支差額		950,642

## 繰越処理後正味財産 (2009 年 3 月 31 日)

		(単位：円)
会員事務関連		1,700,000
研究活動関連		4,944,580

法人化準備	15,000,000
基礎研究賞基金	2,502,206
当期繰越収支差額	950,642
合計	25,097,428

2008 年度決算報告書が正しく処理されていることを証明します。

2009 年 4 月 21 日

監事 杉村 領一 (印)

監事 菅原 俊治 (印)

### 【第 3 号議案】2009 年度事業計画

#### 1. 会員 (2009 年度未予定)

正会員	1000名	団体会員	7団体
学生会員	200名	賛助会員	10社 (16 口)
準会員	39名		

#### 2. 会議

##### 2.1 第 26 回通常総会 (2009-06-11)

##### 2.2 理事会 (年 6 回以上開催)

##### 2.3 評議員会 (年 1 回開催)

#### 3. 事業活動

##### 3.1 機関誌発行

4 冊の機関誌を編集刊行する。採録論文の一部は、機関誌のサイバー増大号の形で電子的に出版する。読者モニタ制度を続け、編集作業の参考とする。学会員が投稿しやすい機関誌を目指し、現行の小論文にかえてレター論文の制度を創設するなど、投稿制度の改善を図る。

##### 3.2 大会

第 26 回大会を以下の要領で開催する。

日 時： 2009 年 9 月 16 日 (水) ~ 18 日 (金)

会 場： 島根大学

大会委員長： 柴田 均 (島根大学)

運営委員長： 平川 正人 (島根大学)

プログラム委員長： 岩崎 英哉 (電気通信大学)

発表申込締切： 6 月 26 日 (金)

予稿原稿締切： 8 月 3 日 (月)

##### 3.3 講習会

最新のソフトウェア技術等に対する理解を会員に深めてもらう，あるいは特定の基礎的技術を体系的に学び直せるような内容の「チュートリアル」を4～5件程度企画し開催する．また「大学基礎講座」も2件程度企画し開催する．

### 3.4 研究会

次の8研究会が活動する．各研究会の活動予定は下記の通りである．

- (1) 「ソフトウェアシステム」研究会 (主査：廣津 登志夫)  
小規模なワークショップを1～2回開催
- (2) 「プログラミング論」研究会 (主査：五十嵐 淳)  
サマースクール1回開催 (2009-09 大会併設)  
ワークショップ1回開催 (2010-03)  
コンピュータソフトウェア誌への論文推薦
- (3) 「マルチエージェントと協調計算」研究会 (主査：大沢 英一)  
ワークショップ1回開催 (2009-08)  
合同ワークショップ&シンポジウム (2009-10 または 11)  
国際会議のスポンサー (2009-12)
- (4) 「インタラクティブシステムとソフトウェア」研究会 (主査：小池 英樹)  
ワークショップ1回開催 (2009-12-02～04)  
コンピュータソフトウェア誌特集号 (2010 年 2 月)  
情報処理学会インタラクション 2010 協賛
- (5) 「ソフトウェア工学の基礎」研究会 (主査：権藤 克彦)  
ワークショップ1回開催 (2009-11-19～21)  
チュートリアル1回開催 (2009-09-15 大会併設)
- (6) 「インターネットテクノロジー」研究会 (主査：寺岡 文男)  
ワークショップ1回開催 (2009-06-26～27)  
コンファレンス1回開催 (2009-10-26～27)
- (7) 「ディペンダブルシステム」研究会 (主査：河野 健二)  
ワークショップ1回開催 (2009-07-14～16)  
シンポジウム1回開催 (2009-11 ごろ)
- (8) 「ネットワークが創発する知能」研究会 (主査：中島 秀之)  
ワークショップ2回開催 (2009-08, 2009-09)  
国際ワークショップ1回開催 (2009-05-12)

### 3.5 広報

本学会 Web ページを整備更新し，本学会会員メーリングリストを活用することにより，有益な情報を効果的かつ適時に会員に提供する．

## 3.6 法人化

学会を法人化することの是非，方法等について検討する．

## 3.7 賞の選考

論文賞，ソフトウェア論文賞，高橋奨励賞，基礎研究賞を選考する．

## 3.8 学会の発展

会員を増やすための方策と経費の適正化とについて検討する．

## 【第 4 号議案】2009 年度予算

今年度の単年度予算としては合計 22,360,000 円を計上している．

入会金・会費収入予算は，3 月末日時点での正会員 978 名，学生会員 176 名，準会員 39 名，団体会員 7 団体，賛助会員 10 社 という実態を踏まえ，納付率 95 % を目標として算定した値に入会金および過去に遡った年会費の支払い予想分を加えたものである．機関誌収入は，サイバー増大号の発行により一昨年度，昨年度と増加しており，今年度も昨年度並の収入を見込んだ値である．講習会については，今年度も昨年度と同規模の企画がたてられていることから，昨年度の実績をもとに講習会収入および講習会業務費の予算額を決定した．

支出については，会員関連業務費が昨年度に比べて減少している．これは，昨年度末に会員業務の整理を行った結果，今年度は連絡不通会員および会費長期滞納会員約 400 名に対する無駄な業務を大幅に削減できることになったためである．研究活動費に関しては，論文賞 2 件および解説論文賞 2 件分の予算を計上している．機関誌業務費に関しては，座談会のテーブル起こし費用を加算している．それ以外の項目に関しては，可能なものは支出をできるだけおさえる形とした．

## 通常会計

(1) 収入の部		(2) 支出の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
入会金・会費収入	15,000,000	会員関係業務費	3,100,000
大会収入	1,060,000	研究活動費	200,000
機関誌収入	4,200,000	大会業務費	910,000
講習会収入	2,000,000	機関誌購入費	11,000,000
雑収入	100,000	機関誌業務費	400,000
		講習会業務費	600,000
		管理費	1,200,000
		事務所経費	1,400,000
		事務所整備費	50,000
		人件費	3,400,000
		予備費	100,000
当期収入合計	22,360,000	当期支出合計	22,360,000

## 特別会計

(1) 収入の部		(2) 支出の部	
	(単位：円)		(単位：円)
勘定科目	金額	勘定科目	金額
前期繰越金(基礎研究賞基金)	2,502,206	基礎研究賞副賞(2件)	200,000
当期収入合計	2,502,206	当期支出合計	200,000

## 【2009 年度理事・監事】

2009 年度の理事および監事は次の通りである。(＊印は 2009 年度選出，無印は 2008 年度選出)

理事長 湯浅 太一

理 事	大沢 英一	大和田勇人＊	亀山 幸義	河内谷清久仁＊
	紀 信邦＊	佐藤 周行＊	柴山 悦哉＊	高橋 和子
	橋田 浩一	平田 圭二＊	松本 健一＊	村田 真
	吉田 健一			

監 事 菅原 俊治 杉村 領一＊